

新型インフルで問い合わせ殺到

新型インフルエンザが世界中でまん延する中、福祉機器の開発販売会社「創研」(本社・足利市)が製造している除菌液「プレバント」がひっぱりだこだ。病原菌やウイルスの除菌効果があり、県内の学校や医院、乳幼児施設、特養・介護施設などで導入が進んでいたが、5月以降は全国から問い合わせが殺到している。同社は「人体が持っている殺菌物質と同じ成分なので、人体にも安全で優しい。家庭や各種施設の衛生管理にもぜひ役立ててほしい」と話している。

【澤圭一郎】

プレバントは、白血球でも生成されている「次亜塩素酸の精製水。次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸を特殊技術で混合した弱酸性除菌水で、消臭除菌力と安全性が両立している。03年度は50件ほどの申し込みだったが年々増加。冬季のインフルエンザ流行期を中心に需要が伸び、昨年度は約3000万円の売り上げに。さらに、今春提携企業と7年ほどの開発期間をかけて03年に完成させた。施設からの「耐性菌を安全に

に開かれた透視医学会総会で、次亜塩素酸精製水がMRSAやセラチア菌、緑膿菌など院内感染で問題となる菌を数秒で死滅させた実験結果を報告した。一般家庭でも除菌に極めて有効な可能性が高い」という。創研の増山直人専務は「インフルエンザウイルスも1分で死滅する。除菌力とともに消臭力も強い。これからの除菌システムになると思う」と話している。5000円以上のスプレーは1260円、噴霧器は3万9900円から。問い合わせは創研(0284・21・3604)へ。

除菌液ひっぱりだこ

足利・創研が製造「プレバント」

特別養護老人ホームなどで、認知症患者のガイドシステムなどを導入していた創研が、提携企業と7年ほどの開発期間をかけて03年に完成させた。施設からの「耐性菌を安全に



佐野市にある老人保健施設「まぐら」の里に設置されているプレバントの噴霧器

宇都宮駅—水戸駅で運行

「宇都宮駅—水戸駅」

駅—水戸駅間を結ぶ高速バスを9月中旬にも運行開始すると発表し、

の買い物が増えたこと、JR宇都宮駅—水戸駅間の運行に需要が見込まれると判断

00人の利用者を見込む。【山下俊輔】

鈴木重信さん83歳(鈴木金具工業社社長)東和町57の1。通夜は30日午後6時、たぐら花店やすぎとろし。葬儀は

所。喪主は長男勝義さん。【日光市】

【宇都宮鶏卵】(樋口厚本店調べ・キロ・税別)

L 173 LL162

【アタ枝肉】(宇都宮食肉市場調べ・キロ)

	高値	安値	平均
極上	441	431	431
極上並	401	378	389
並	395	210	300
等外	340	63	191

県内の交通事故

(27日・県警調べ)

発生 32件 (6008件)
死亡者 1人 (69人)
負傷者 37人 (7639人)
※カッコ内は本年累計

市町村	発生	死亡	負傷
宇都宮	840	525	2100
小	105	263	1280
山	53	42	1050
鹿	84	525	220
沼	21	210	126
佐	115	525	220
野	21	105	105
桐	84	1155	210
生	32	158	105
館	105	787	189
林	52	51	42
足	126	1050	210
日	105	525	210
光	63	189	189